平成31年度　　事業報告書　　認知症対応型共同生活介護　上牧の郷

目　　標	実　績　報　告	総　　評
＞数値目標 ① 入居稼働率100%を目指す。 ② 苦情発生時対応をしっかりとす ③ 事故発生時対応を考え、指導・研修を行う。 ④ 身体拘束ゼロを目指す。	①退院時の早期受け入れを行い、空きのないよう早期受け入れをしました。 ②家族様とのかかわりや要望や関わりを大切に、日頃よりコミュニケーションを持ち話しやすい環境を作りました。 ③会議で事故の内容を共有をし、今後の対応を意識し、職員間で共有 ④その人なりの性格を知り傾聴する事を大切にし、日常の中で規制することのない環境づくりをし職員が行動・言葉の制限をしないよう意識した。	・日々の生活の中で関わる事を1番大切にして、個別の対応を意識することで不安や混乱を緩和できた。 ・外出できる機会を増やすことで気分転換を図り生活を楽しんでいただけるよう取り組み、コロナの為、個別レクの計画も実行できた方もいるが、まだの方もいるので、今後も希望・要望を聞きながら実行していく。 ・退所後は、次の入居希望者に連絡をし、空きのないように受け入れた。 ・家族の面会時に必ず日常の身体精神状態を説明し、必要な事はないか聞き要望に応える努力をした。
＞　行動目標 ① 職員の育成に取り組み、サービスの標準化を目指す。 ② 安心して安全に暮らしていただける様、認知症の理解を深める。 ③ ケアプランの見直しを行い、課題を共有し、個別ケアを継続する。 ④ 常に施設運営に意識を持ち、空室の早期受け入れ体制の強化を行う。	①月2回の会議で職員の研修を行い、介護技術の向上・緊急時の対応を学び生かせるよう取り組んだ。 ②担当を決めて利用者様のアセスメントを行い、個々のニーズを職員間で話し合い、有意義にすごしてもらえるよう対応した。 ③課題の改善と個別ケアを大切に継続できるようプランの見直しをした。 ④退去後は、早期の受け入れを意識し実施した。	・会議で介護の研修をし、職員の育成に取んだ。 ・利用者の状況を細かく話し合った。 ・課題の改善を日々の介護に落とし込み、職員で取り組んだが、職員間の伝え忘れや優先順位の間違いにより転倒事故につながったケースもあるため、今後も取り組んでいく。 ・認知症の理解・個々のニーズを理解し対応できるよう職員間で話し合い、報告・連絡・相談を徹底できるように取り組んだが、報告・連絡・相談が徹底できていないので、今後も課題として取り組んでいく。

【 実行報告 】 4月		5月		6月		7月		8月		9月	
花見行事	○	母の日	○	父の日	○	七夕	○	夏祭り(全体行事)	○	敬老会	○
お誕生日会	○	お誕生日会	○	お誕生日会	○	お誕生日会	○	お誕生日会	○		
						消防訓練	○				
職員研修会	○	職員研修会	○	職員研修会	○			職員研修会	○	職員研修会	○
職員会議	○	職員会議	○	職員会議	○	職員研修会	○	職員会議	○	職員会議	○
						職員会議	○				

10月		11月		12月		1月		2月		3月	
運動会(全体行事)	○	柿狩り	○	クリスマス会	○	初詣	○	節分	○	和太鼓(芥川高校)	×
収穫祭	○	消防訓練	○	お餅つき	○	お誕生日会	○	バレンタインデー	○	ホワイトディ	○
職員研修会	○	職員研修会	○	職員研修会	○	職員研修会	○	職員研修会	○	職員研修会	○
職員会議	○	職員会議	○	職員会議	○	職員会議	○	職員会議	○	職員会議	○